

総務常任委員会の記録

(防災安全課)

招 集 年 月 日	令和6年3月5日(火)
招 集 の 場 所	松野町議会議場
開 会	3月7日(木) 午前 8時55分
閉 会	同 上 午後 9時59分
出 席 委 員	山石 恭助、山崎 匡、加藤 康幸、森岡 健治、赤松 紀幸、 安西 博文、山田 寛二
欠 席 委 員	
付議事件説明 のため出席 した者の職氏名	町長 坂本 浩、副町長 八十島 温夫、 課長 中井 和彦、課長補佐 山本 和幸 主事 榎谷 惇志
職務のため出席 した者の職氏名	議会事務局長 大谷 吉廣、書記 岡崎 智恵子
付 議 事 件	1 議案第12号「令和6年度松野町一般会計予算」

山石委員長	<p>議案第12号「令和6年度松野町一般会計予算」、防災安全課所管分の審査を行います。</p> <p>担当課長に説明を求めます。</p>
中井課長	<p>(業務計画説明)</p> <p>議案第12号 令和6年度 松野町一般会計歳入歳出予算について、歳入該当分、歳出2款総務費、9款消防費の防災安全課該当分を、予算書に基づき説明します。</p> <p>まず、歳出予算から説明します。予算書41ページの中段、2款総務費、1項総務管理費、3目行政放送施設費の予算額は428,786千円で、前年度比411,412千円の増額としています。主な増額の内容としては、14節工事請負費で防災情報等伝達設備工事費417,923千円を計上したためであります。</p> <p>内容を説明いたしますので、委員会資料7ページをお開きください。</p> <p>防災情報等伝達設備整備事業について、説明いたします。</p> <p>町から住民に対する情報伝達手段は、現在IP告知放送システムによる戸別放送と、旧防災行政無線屋外拡声装置を活用したIP告知による屋外拡声放送を行っています。しかし、旧防災行政無線の設備は、平成16年に整備されたもので、昨今では故障が頻発している状況です。また、屋外設備の鋼管柱は昭和60年に建柱したもので、耐用年数の30年を大きく超えており、倒壊の恐れもあることから、早急な対応が必要となっております。</p> <p>そのため、これらの老朽化が著しい設備の更新に加えて、放送の聞こえやすさを強化するための高性能スピーカーを導入するとともに、豪雨による河川氾濫を監視するための河川監視カメラの更新、防災機能の強化を鑑み屋外拡声ボックス内のIP告知端末の状態監視を可能とし、停電時の電源対策も行えるよう機能向上を図ることとしております。</p> <p>なお、工期につきましては、年度内完了を目標としており、財源</p>

については、緊急防災・減債事業債４２７，０００千円を充当することとしています。

次に、予算書４６ページの中段、９目交通安全対策費の予算額は８，７７３千円で、前年度比１，９５６千円の増額としています。主な増額の内容としては、１４節工事請負費として、防犯カメラ付き街路灯整備工事費１，４３０千円を計上したためであります。

内容を説明いたしますので、委員会資料８～９ページをお開きください。

防犯カメラ付き街路灯整備事業について、説明いたします。

事業の目的としては、町民が安心して暮らせるまちづくりを目指し、子ども、女性、高齢者等への犯罪抑制のため、通学路や公共施設を中心に、町内１０箇所防犯カメラ付き街路灯を設置するものであります。

この街路灯の特長としては、一台で防犯カメラと街路灯の二つの機能を有すること、街路灯を青色の光にすることにより犯罪の抑止効果を向上させること、高画質カメラにより最大１１日間の録画が可能であること、プライバシーに配慮したマスキング機能があり、スマホでのデータ管理が可能であることなどがあげられます。

この街路灯の設置により、日頃の防犯対策だけでなく、大規模災害時における情報収集や、行方不明者の捜索など、多様な活用方法を考えております。なお、財源につきましては、緊急防災・減債事業債１，４００千円を充当することとしています。

次に、予算書４７ページの中段、１１目諸費の内、防災安全課所管の予算額は８７７千円で、前年度比１７千円の増額としています。内容としては、宇和島地区防犯協会補助金の増額によるものです。

次に、予算書４９ページの下段、１６目情報通信基盤施設管理費の予算額は３５，６０４千円で、前年度比２４，６４５千円の減額としています。

主な減額の内容としては、鬼北情報通信基盤施設の大規模な更新

が今年度で完了することから、18節負担金を24,645千円減の34,141千円としたためであります。

次に、予算書98ページ、9款消防費、1項消防費、1目非常備消防費の予算額は29,652千円で、前年度比8,917千円の増額としています。

主な増額の内容としては、消防団員の出動報酬のうち、新たに警戒・訓練に対する報酬1,551千円を計上したことに加え、団員の活動服の更新及び雨具費用として、10節の消耗品費を7,578千円計上したためであります。

内容を説明しますので、委員会資料10ページをお開きください。

消防団救助能力向上資機材整備事業について、説明いたします。

近年、異常気象の影響により豪雨災害等が増加しており、消防団活動の重要性が高まっていることから、安全性かつ効率性を高めるための装備品を充実化させることが重要であります。

しかし、本町消防団におきましては、平成26年2月に「消防団員服制基準」が改正された以降も、平成21年度に更新した活動服を現在も使用していることから、消防団員が安全な装備で活動ができるよう、新基準に適合した活動服を整備しようとするものであります。併せて、近年は火災以上に、風水害への対応が頻発していることから、防水性、保湿性、視認性の高い雨具を消防団員全員に配備しようと考えております。

なお、財源につきましては、消防設備整備費補助金2,375千円を充当することとし、補助残についても特別交付税措置により、8割が還元されることとなっております。

次に、予算書99ページの中段から、2目消防施設費の予算額は11,358千円で、前年度比50,051千円の減額であります。

主な減額の内容としては、耐震性貯水槽整備事業が今年度で完了するためであります。

なお、今年度から実施しております消防車庫及びホース乾燥柱建

設事業については、来年度は第1分団第3部（豊岡後）を予定しており、12節委託料のうち、設計監理委託料924千円、14節工事請負費9,680千円を計上し、財源につきましては、緊急防災・減債事業債10,600千円を充当することとしています。詳細につきましては、委員会資料11ページに記載しておりますので、お目通しください。

次に、3目水防費については存置予算としています。

続いて、4目災害対策費の予算額は7,436千円で、前年度比157千円の減額であります。主な減額の内容としては、新たに福祉避難所に認定した「フレンドまつの」への備蓄物資を今年度に整備したためであります。

一方、新たに取り組む事業もありますので、委員会資料12ページをお開きください。

飲料水タンク購入事業について、説明いたします。

地震や台風などの自然災害が発生した際、何より急がれるのはライフラインの確保、復旧であり、生活に不可欠な水道、電気、ガスなどのうち、特に『水』は生命を守るために必要不可欠なものであります。

能登半島地震では、上水道に大きな被害があり、被災地では飲料水、生活用水が確保できない状況が長く続いています。

本町におきましても、今後発生することが予想される、南海トラフ地震では、最大震度6強の揺れが想定されており、水道管被害が危ぶまれることから対策が必要となっております。

その対策の一つとして、国からの支援を待つだけでなく、住民の『いのち』を守るため、水源地から飲料水を供給するための折り畳み式の飲料水タンク（10リットル入り）を1,600個購入し、軽トラックなどを利用することで、町内全域に幅広く飲料水を供給しようとするものです。

なお、財源につきましては、ふるさと応援基金繰入金1,024

千円を充当することとしています。

以上で歳出について説明を終わり、歳入の説明へ移ります。

予算書23ページの下段、14款国庫支出金、2項国庫補助金、7目消防費国庫補助金、1節非常備消防費国庫補助金については、消防団施設整備費補助金として、2,375千円としています。

同じく、予算書27ページの下段、15款県支出金、3項委託金、1目総務費委託金、1節諸費委託金については、自衛官募集事務委託金として、交付見込み額の14千円としています。

続いて、予算書29ページの上段、16款財産収入、1項財産運用収入、2目利子及び配当金、1節利子及び配当金のうち、当課所管分は災害対策基金預金利子として8千円としています。

続いて、予算書30ページの下段、18款繰入金、2項基金繰入金、3目ふるさと応援基金繰入金、1節ふるさと応援基金繰入金のうち、当課該当分は1,024千円としています。同じく、5目災害対策基金繰入金、1節災害対策基金繰入金については、382千円としています。

続いて、予算書34ページの中段、21款町債、1項町債、4目緊急防災・減債事業債、1節緊急防災・減債事業債のうち、消防車庫及びホース乾燥柱整備事業、防災情報等伝達設備整備工事及び管理業務委託料、鬼北地域情報通信基盤施設管理運営費負担金、防犯カメラ付き街路灯設置工事に対して、合計459,800千円充当することとしています。

以上で説明を終わります。よろしく御審議いただき、ご承認いただきますようお願いいたします。

山石委員長

担当課長の説明が終わりました。委員からの質問を許します。

山田委員

まず、消防団のところで、機能別何とかと言われたんですけど、そのことについてどのような内容か、細かい内容を教えていただければと思います。それと、消防団のところでOBの方をとという言葉もあったんですけど、どのような活用をされようとしておるのか、も

<p>中 井 課 長</p>	<p>うちちょっと詳しく教えてください。</p> <p>それともう一つは、防犯カメラつきの街路灯ですか、防犯カメラというのは12か所でしたか設置されるということで、図もありましたけど、以前に大雨が降ったときに河川というか水の状況が見れたらという話もちらっとあったと思うんですけど、この防犯つきのカメラについて、そこら辺も俯瞰というか見えるようになってくるのか、ちょっとそこら辺を教えてもらったらと思います。</p> <p>まず、消防団の機能別制度につきましては、今考えておりますのは、OB団員の活用と企業を巻き込んだ団員の確保ということです。</p> <p>OB団員につきましては、長年消防団に在籍をしておられまして、知識や経験を持っておられます。日頃の訓練等への参加とかは難しいとは思いますが、実際、災害が起きたり火災が起きたりしたときの後方支援といったような形で活動をしていただけるように、今後、消防団幹部会においても検討し、そういった形でOB団員の活用を考えていきたいと考えております。</p> <p>企業につきましては、ほかの自治体におきましても、消防団員は減少傾向にありまして、いろいろな取り組みをしておりますが、本町におきましても、誘致した企業などがございます。</p> <p>そういった企業にも声かけをさせていただいて、そこで働いていただいている従業員の方で、もし万が一近くで火災などが起こった場合ですとか、そういったときの対応として、事業所が町から認定を受ける形で、消防団活動に従事していただくような取組ができないかといったようなことを、現在考えているところでございます。</p> <p>2点目の防犯カメラ付き街路灯につきましては、基本的な考え方といたしましては、公共施設ですとか、あと道路を中心とした特に通学路を中心とした防犯対策を1番の目的としているところです。</p> <p>そういった点で、河川を映すような計画は現在のところございませんが、河川の映像につきましては、今、県の土木部局とも検討しております、広見川といった大規模河川においては、河川用のカ</p>
----------------	---

	<p>メラをつけていただくように、要望活動をしているところでございます。</p> <p>その辺りにつきましては、建設課とも連携をとりながら報告する機会がございましたら、御報告させていただいたらと考えております。</p>
山 田 委 員	<p>消防団の件なんですけど、OBの活用ということで検討と今言われたと思うんですけど、具体的にそのOBの方にどのようにしてもらおうのか。</p> <p>訓練とかはちょっと難しいという話でしたけど、私もOBの1人なんですけど、どういった範囲のOBの方に声をかけて、何かそういう、いきなり火災のときにというわけにはいかないと思うんですけど、事前の訓練ではないですけど、やっぱり昔やったことですから全部は覚えてませんので、基本的なことは新たに勉強、訓練をしとかないといけないと思います。</p> <p>いざというときにはちょっと難しいかなというふうに個人的には思うんですけど、そこら辺、検討というふうに言われたんですが、具体的にどのようにしていくか。今のところは策定されてないというか、計画はないということですかね。</p> <p>それと、企業については、私も以前施設のほうに勤めとったんですけど、施設の中でも、防火訓練とか防災訓練やってるんですけど、自分とこでそういうふうに火災が起きたら、こういうふうにしましようというのはあるんですけど、もちろん今課長が言われたのは、近隣のところで火災があったときに、その企業の中の協力していただける方というか協力を求めるという認識でよろしいですか。</p>
中 井 課 長	<p>まず、OB団員の詳細につきましては、詳しくはまだ幹部会のほうで決める内容ですので、決めてはおりませんが、事務局として考えておりますのは、過去在籍していただいた団員のうち、ある程度の年齢の方までに絞りまして、声かけをさせていただいたらと考えております。</p>

	<p>それにより参加していただける方につきましては、退団されてからしばらく年月がたっておりますので、技術とか再度見直しをしなければならぬこともあろうかと思っておりますので、その際には、年に1回ですとかの定期的な訓練などは必要かと考えております。</p> <p>それ以上の詳細のことについてはちょっと、今お答えできませんので、また分かり次第、随時報告をしていきたいと考えております。</p> <p>企業につきましては、近隣における火災において、協力をしていただきたいと考えておりますが、消防団員でない方が多くおられると思いますので、そういった方に対しての呼びかけや研修といったことは行っていく必要はあるかと思っております。</p> <p>そういったことで、現在のところ、今後検討していく内容としておりますので、明確な答えができませんが、現状におきましては、こういった内容で進めたいと考えておるところでございます。</p>
山 田 委 員	<p>2つとも今まだ検討中ということなんですけど、この前から南海トラフとか、防災のことをいろいろ質問されとる方もおられましたけど、これはいつ起こるか分かりませんので、そういったところは早めにと言ったらおかしいですけど、具体的に計画を立てて、1日でも早くそういう体制がとれば、いざというときに対応できるのかというふうに思いますので、絵に書いた餅にならんように、検討じゃなくて具体的にこのような形でスケジュールを持って進めておりますと、1年間こういうふうにやっておりますんで、最終的にはいつまでに団員の確保をすとか、そういったこともまた、当然考えられとると思うんですけど、そこら辺の計画を立てていただいて、実施の方向に進めるようお願いしまして、私の質問を終わりたいと思います。よろしく申し上げます。</p>
赤 松 委 員	<p>業務計画の中に、未利用の井戸の現況調査と活用方法の検討というのがうたわれておりますが、この件につきましては御案内のとおり、能登半島の地震でも、水が使えなくなって大変困っているというような報道がなされているわけございまして、それを踏まえま</p>

<p>中 井 課 長</p>	<p>しても、大変水の確保が重要と思われます。</p> <p>そういうようなことから、現在町内にも井戸があるのではないかと というようなことに目をつけられての取り組みと思われますが、大 変重要なことと思いますので、今からどのように進めていくかとい うことは、今からの協議になろうかと思いますが、今の段階でどの ようにこれを進められていくお考えか、現段階でのお話を聞かして いただいたと思います。</p> <p>未利用井戸の利用につきましては、既に建設環境課のほうで、平 成12年から昨年度までの間で、町内の12か所で井戸の水質の調 査といった取り組みを行っております。</p> <p>その結果としましては、残念ながら飲料水として使える井戸はな いとの報告は受けておりますが、引き続きまして、それ以外の井戸 につきましても、広報による周知ですとか、そういったことにより まして、まずどこに井戸があるのかの確認から始めていきたいと考 えております。</p> <p>そして、井戸があるという情報を得ましたら、私ども担当課の職 員が出向いて参りまして、調査をさせていただくような形で進めて いかせたいと思っております。</p> <p>そして、その井戸の所有者の方の御了解といいますか、協力頂け るということが分かり、また、水量的にも十分で災害時などにも対 応できる水量があると判断された場合には、例えば水中ポンプを利 用しての井戸の活用方法ですとか、そういったものを検討しまして、 緊急時の災害用井戸として登録するような形で、町としても把握し ながら、万一、災害が起きてしまった場合には、どこどこに災害用 の井戸がありますよといった周知ができるような取り組みを進めて まいりたいと思っております。</p>
<p>赤 松 委 員</p>	<p>私もそのような方向で是非、お願いしたらという考えを持ってお りましたが、今、述べられたようなことでございますので、ぜひそ の方向で進めていただきたらありがたいと思っております。</p>

	<p>特に水道の問題は、恐らく今言われております南海トラフ地震等が起きましたら、老朽化しております水道も、打撃、ダメージを被るのではないかと思います。</p> <p>そうかといって、すぐに復旧する内容ではございませんので、やはり、それに替わるべきものを構えておくことが大事ではないかと思われまますので、是非よろしくお願いを申し上げたいと思います。</p> <p>私からは、1点だけちょっとお聞きしたいことがあります。消火栓のことです。</p> <p>消火栓のあるところにホースとかが常備されているわけですが、私の記憶によると、半分が地元負担で半額が町から補助っていうような内容だったように思うんですけども、その辺の補助の内容は、今も同じような内容で継続しているのでしょうか。</p> <p>それと、消火栓も私が団員の時には、かなり古くなっているところもあつたりして、栓が閉まりにくいとかそういう状況も、春季訓練で点検はされているだろうと思うんですけど、その辺の更新の時期とか、そういう予定があるのかどうかっていうのをお聞きしたいのと、その2点です。</p> <p>補助の内容と消火栓の更新とかそういう予定があるかどうかということをお聞きしたいと思います。</p>
山 崎 委 員	<p>私からは、1点だけちょっとお聞きしたいことがあります。消火栓のことです。</p> <p>消火栓のあるところにホースとかが常備されているわけですが、私の記憶によると、半分が地元負担で半額が町から補助っていうような内容だったように思うんですけども、その辺の補助の内容は、今も同じような内容で継続しているのでしょうか。</p> <p>それと、消火栓も私が団員の時には、かなり古くなっているところもあつたりして、栓が閉まりにくいとかそういう状況も、春季訓練で点検はされているだろうと思うんですけど、その辺の更新の時期とか、そういう予定があるのかどうかっていうのをお聞きしたいのと、その2点です。</p> <p>補助の内容と消火栓の更新とかそういう予定があるかどうかということをお聞きしたいと思います。</p>
中 井 課 長	<p>補助の内容についてまず、お答えいたします。</p> <p>ホース等の購入事業につきましては、事業費の2分の1としておりますが、1本につき、上限を1万2,000円と定めております。</p> <p>そういったことから、これまでの実績でいきますと、一本当たり、3万から4万といったことで、半額以上が地元の持ち出しになるかとは思いますが、私の地元におきまして、今年度、ホースが老朽化していたことから、全部やり替えをしたところでございます。</p> <p>そのほか、松丸の新町組におきまして、ホースの更新などを行っているところでございます。</p> <p>また、消火栓の改修事業につきましては、総工事費の3分の2の</p>

補助率としておりまして、補助の上限額は6万6,000円となっております。

こういったことで、消防防災に対する補助金につきましては、以前からの変更はございません。詳細な内容につきましてはまた資料がございますので、そちらを後でお配りさせていただきたいと思っておりますので、御確認を頂けたらと考えております。

2つ目の消火栓の更新につきましては、現在のところ、町内には200余りの消火栓がございます。

更新計画は今のところございませんが、目黒とか、一部の地域においては、規格が違った消火栓といいますか、古いタイプの消火栓がございます。

そういったところには、今後更新をする必要があるのではないかと考えておりますので、そこらあたりは、また幹部会ですとか、消防委員会とか、そういったところに提案をさせていただいて、方針についても検討していきたいと考えております。

山 崎 委 員

はい説明ありがとうございます。

1万2,000円という上限っていうのが、3、4万して1万2,000円とかなら、やはり地元の負担が大きいんじゃないかなと思うんですけども、当然ながら物価高騰で全ての物資が上がっているんだろうと思います。

もう少し、補助率が高くできるんじゃないかなというふうに思うんですけど、その辺も検討をお願いしたいのと、恐らくホースって、消火栓のところに3本は入っていると思います。一本が4万ということで、かなり高額になるなというふうに思うんで、もう少し地元の負担の軽減できるような措置をしていただいたらと思います。

先ほど言ったホース、消火栓の形状が違うという話なんですけど、私も団員ときに、形が違うところがあったりして、消防団のホースを常備してる車につけるホースが結合できないというようなところがあったりしたのを覚えてます。そういう場合にホースの延長と

	<p>か、そういうことができないんで。その辺はできるだけ汎用性が広いような、ホースが使えるような状態にしてもらおうというのが大事なんだろうと思います。</p> <p>先ほど言われた、3分の2の6万という消火栓の部分というのは、消火栓の出るところの取付けのうち、3分の1は地元が出すってことですか、それも含めて、地元から3分の1出さないといけないという状態になっているってことなんですか。そこは何とかしてほしいなと思います。今の補助制度については理解いたしました。</p> <p>ただ先ほど言われた内容についてはちょっと御検討していただいたらありがたいなと思います。</p>
中 井 課 長	<p>ただいまの消火栓をはじめとする消防施設の負担軽減について、御回答させていただきますが、今おっしゃいましたように、今年度、私の地元におきましても、ホース6本のやり替えをいたしまして、地元の負担としては、ある程度大きなものとなっております。</p> <p>そういったことから、消防設備の補助金の要綱につきましては、しばらく、更新等もされていないこともございますので、地元負担が軽減できるよう精査していきたいと考えております。</p> <p>また消火栓につきましては、3分の1が地元負担でという御意見でありましたが、消火栓はある意味公共財産であると考えておりますので、その辺についても、今いただきました内容を検討していきたいと考えております。</p>
山 崎 委 員	<p>消火栓っていうものは、防火水槽が遠いとか、水利が遠いときに有効な初期消火の手段だろうと思います。</p> <p>そして、消防団員がいなくても地元の人で初期消火ができ、消火器とあわせて、地元の団員以外でもできるというものだろうと思うんで、是非その辺は先ほどの課長のお答え頂きましたんで、前向きに検討していただいたらと思います。</p>
森 岡 委 員	<p>答えられるだけで結構です。以前、町長ともいろいろ、討論をしたことがあります。この能登地震でもそうですが、今度南海トラ</p>

フでも考えれる、いわゆる孤立した場合、いわゆる松野町で地域的に言うと、奥野川地域とか目黒地域、結構ありますが、こんな場合に、町長は以前、どういうことがあっても役場職員をその場を行かすと言われましたが、実際無理ではないか、すぐそういう行動がとれるかと考えたとき、そもそも無理なんじゃないかと思っております。

住民の命を守らないといけないし、避難場所とか、そういうことの計画を進めていかないといけない、いろんなハードルがあると思いますんで、ひとつこの辺りについて、ちょっと町長にお伺いしたいなと思っております。

これも以前なんですけど、前町長のときに防犯カメラを設置したらという一般質問をした記憶があるんですけども、そのときに教育委員会とか学校、父兄のほうで、プライバシーとかそういうことがあってなかなかできませんという返事を頂いたことがあるんですけど、いわゆる通学に関しての防犯カメラっていう設置のことを質問したことがありますけど、その辺に関して、現在ではどういう考えを持っておられるか。

それと、消防ホースの乾燥する柱というか、支柱ですか。これはやはり、できるところは先に早く設置すべきじゃないかなと。何か予算見よったら消防車庫と一緒にような形には見えるんですけども、車庫そのものに影響のない場所については、先にやるべきじゃないかなと。消防団の労力とか、ホースの維持管理のためにも思いますので、その辺についてお聞かせ願ったらと思います。

あともう1点は、携帯電話の不感地域です。

これは、これも去年おととしかな、一般質問でもしましたが、ほかの町村では、同じときに尋ねたときには、ほかの町村ではどうも計画が上がるとるんですけども、我が町では何で上がらないのかなとその辺を思っております。

ちょっとその辺、お話をさせていただいたらと思います。

坂 本 町 長

まず1点目の、今回能登半島地震で顕著になりました孤立集落対策というところなんですけれども、確かにあれほどの地震が広範囲で被害が出ますと、能登半島の地域的な特性というのもありまして、かなりの孤立集落がなかなか解消できなかったという現実を目の当たりにしました。

これは松野町に置き換えてみた場合、例えば上家地部落でありますとか、目黒、奥野川、そういったところに該当するというような恐れもあるわけなんですけれども、確かに情報伝達手段というのが非常に命綱になってくると思います。

そういった意味で、今回IPを利用した情報伝達手段を、4億円を超える多額な事業費で整備をさせていただく、これが100点満点ではなくて、まだまだお金をかければ、いろんな方策ができるわけでございますけれども、今の松野町の財政的な体力、それから費用対効果等を懸案して、私はこの方式がベストではあるという判断を常々言っておるわけです。

ただ、これで全て情報伝達手段があれば、住民の安心安全に万全ですよっていうことではない。どうすれば、実際に、孤立した集落のところに行って人々に支援物資を届けて励まして、そして、そこでの生活を支援していく。

やっぱりこれはヒューマンパワーといいますか、マンパワーが必要なわけございまして、私は森岡議員が御指摘になったように、少しでも早く、役場の職員でありますとか消防署、自衛隊、そういったところが駆けつけていく。そこを通常の訓練等調査も含めまして、円滑にいくように、これから準備をしておかなければならないというふうに思っております。

幸い、松野町の場合、面積等はほかの山間部の自治体に比べて、そんなに広くありません。

確かに道路が寸断されれば、車ですっと乗りつけるということはいかないかもしれませんが、これから、いろんな技術、例え

ばドローンとかの技術も発達してまいりますので、そういったところも含めながら、少しでもその避難集落に、孤立した集落に駆けつけるようなことを、これからもやっていきたい。同時に避難物資も、なるべく分散して、配置をしておきたいということもあります。

そこら辺も含めまして、まだまだ完全な計画ではありませんが、これから必ず来ると言われております南海トラフ地震に備えていきたいというふうに思っております。

もう1点、防犯カメラなんですけど、前町長さんのときの御質問だというふうに伺いましたが、私ちょっと、その当時の記憶がないんですけれども、いろいろ社会情勢も変化をしております。

今、これは松野町ではない都市部なんですけれども、防犯カメラが非常に発達をして、犯罪の捜査にも活用されているということが抑止力になっているというのは事実だと思います。

我々のところも、そういった都市部に比べて危険性は少ないと思うんですけれども、やっぱり、万一のところに備えて防犯カメラを適切に設置していくことは、私は非常に有効なことだというふうに思っています。

昨年ですね、行方不明者が出て、結局まだ発見できていないという状況でございますけれども、そういったときも、防犯カメラがあれば、例えばどこそこを通ったというのが分かれば捜査にも非常に有効であったということ、そういうことも考えまして、今回この防犯カメラ付街路灯の提案をしたわけでございます。もちろん、プライバシーの配慮はしなければなりません、これにつきましてはしっかりと個人情報ということで把握をしますし、みだりに画像がほかに流出するというようなことはありません。

そこら辺はしっかりとセキュリティーかかっておりますので、もしそれを操作して再生しなければならぬということであれば、それなりにちゃんとした手順を踏んで、警察当局等にも提供するというような、マニュアルをこれからつくっていききたいというふうに思

<p>中 井 課 長</p>	<p>っております。</p> <p>あと、消防ホースの乾燥場と携帯電話につきましては担当課のほうから御説明をいたします。</p> <p>3つ目の質問の消防ホースの乾燥柱につきましては、ただいま御指摘頂きましたように、今年度、来年度とも、車庫と一緒に整備することとしておりますが、確かに車庫が整備されているが干し場がないといった分団もございますので、その辺りは1年に全部というわけにはいきませんが、計画的になるべく早い着工を進めていきたいと考えております。</p> <p>また、携帯電話の不感地域への対策としましては、これまでは県への要望ですとか、そういった各機関への要望にとどまっておりますが、今年度より一步踏み込みをいたしまして、携帯電話会社へ直接要望するような活動をしておるところでございます。</p> <p>そういったところで、関係団体とも打合せといいますか、協議を行ったところでありますが、財源の確保等の問題がございますので、その辺りについて、ある程度目途がつきましたら再度検討していきたいと考えておりますが、当初予算におきましては、そこら辺の詰めた内容がまだできておりませんので、計上していないところがございます。</p> <p>ただ、この不感地域対策は継続的に行っておりますので、またそこら辺、話が進みましたら改めて報告をさせていただいたらと思いますので、御理解のほうよろしくお願いいたします。</p>
<p>森 岡 委 員</p>	<p>答弁ありがとうございます。今課長が答弁された携帯電話に関して、町民からいろいろとお願いやらされてますんで、ひとつ是非、根気よく取り組んで頂いたらと思います。</p> <p>それと、消防ホースの吊り場ですね、おそらく、この柱も制作もんやろうと思います。発注にかけて時間がかかるんじゃないかなと思いますんで、できる限り年度内にやれる金額があれば、繰越しじゃなくて年度内にできるようにお願いいたします。</p>

	<p>それと、先ほど町長いろいろ難しい話ですよ。災害に起きたときに関しては、やはり行政として、行政だけじゃなく町民の方も、かなり被害があると思います。そのときには、誰が先導をとって町民を引っ張っていくか、その辺がいかにか復興をしていくかっていうことになると思いますんで、その辺よく計画を立てた図式といいますか、そういうのを、やはりこうなった場合には、誰が行くんだ、こういうシステムでやるんだという、そういう形づくりをしていただいたらと要請しておきます。</p>
山 田 委 員	<p>最後に簡単な質問をさせていただいたらと思いますが、防災士資格を取られてる方、去年の人数が記憶では27、8名、間違っとなるかもしれませんが、あったと思うんですが、去年の末から今年にかけて何人か受けられて、合格したというのは聞いとるんですけど、トータルで今何人ぐらいになってるのか。数字つかまれとったら教えていただきたいと思うんですけど、この間、私も受けさしてもらったときに、愛媛県は全国でも、防災士の人数の割合というか、トップやというふうに聞いておりますし、そういう意識が愛媛県全体であるんだろうと思うし、これはいいことやと思うんですけども、その中でも松野町も多分高い率になっとなるんかなというふうに想像はしとるんですけど、もし数字的に、つかまれておれば教えていただいたらというふうに思います。</p>
中 井 課 長	<p>それと、防災士の役割は我々も勉強して、ある程度は理解しとるんですけど、松野町においてどういったことを防災士に求めているのかというのも、もしありましたら教えていただいたらと思います。</p> <p>松野町における防災士につきましては、本年2月末現在で35名の方が自主防災会に属する防災士として登録していただいております。35名です。そして1月に行われました防災士の試験によりまして、13名の方が合格したと聞いております。</p> <p>その方につきましては現在手続などを進めておりますので、今年度末といいますか、登録が終わった段階では約50人近い防災士に</p>

	<p>なると思われます。</p> <p>その防災士への役割につきましては、コロナ禍などで自主防災会による避難訓練等がしばらくの間停滞しておりましたが、今年度から10部落のうち5部落については、自主的に避難訓練のほうを行っております。そういった避難訓練の折に、リーダーとして活躍していただくことを町としては望んでおります。</p> <p>そういったことで、山田委員さん言われましたように、愛媛県は防災士に対する支援と申しますか、取り組みが非常に盛んでございますので、本町におきましても、これまでは非常に少ない防災士数でありましたが、皆が防災士の知識を得るぐらいのつもりで受講していただくように、町としても周知活動を行いたいと考えております。</p>
山 田 委 員	<p>はい、よく人数とかも含めて分かりました。</p> <p>やっぱ防災に向けてというか、災害が発生する頻度が高まっておりますし、そういったことに対応できるということで、大変心強いんじゃないかなと。一部では防災士だけが動くわけじゃないんですけど、そういった意識づけにもなると申しますんで、今後もまた引き続き、募集というか、そういう活動をしていただければというふうに思います。</p>
山 石 委 員 長	<p>他にありませんか。</p> <p>質問が無いようであれば、採決に移ります。</p> <p>ただいま審査しております、議案第12号について、原案のとおり御承認いただけますか。</p>
山 石 委 員 長	<p>(異議なしの声)</p> <p>賛成全員です。</p> <p>したがって、当委員会は、議案第12号「令和6年度松野町一般会計予算」、防災安全課所管分については原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。</p>

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和6年5月2日

松野町議会総務常任委員会委員長 山石 恭助